

(一社)日本環境動物昆虫学会 第37回年次大会プログラム

<会 期>

2025年11月15日（土）～11月16日（日）

<会 場>

長崎大学 文教キャンパス 教育学部本館
(長崎県長崎市文教町1-14)

実行委員長：大庭伸也（長崎大学）

(一社)日本環境動物昆虫学会

JAPANESE SOCIETY OF ENVIRONMENTAL ENTOMOLOGY AND ZOOLOGY

<http://www.kandoukon.org/>

学会事務局

550-0005 大阪市西区西本町1-11-1

TEL・FAX 06 (6535) 4684 e-mail kandoukon@outlook.jp



JSECCZ
日本環境動物昆虫学会

第37回日本環境動物昆虫学会 年次大会

<会 期> 2025年11月15日(土)～16日(日)
<会 場> 長崎大学 文教キャンパス(長崎県長崎市文教町1-14)教育学部本館
<大会委員長> 大庭伸也(長崎大学)

<大会日程>

※11/15(1日目)受付は9:45から教育学部本館正面玄関で行います。

日 程	時刻	プログラム	
		対面	対面のみ
11月15日(土)	9:45		ポスター発表
	10:30	理事会・評議員会(対面およびオンライン) S会場(教育学部本館1階11番) 10:30～12:00	P会場(本館2階21,22番教室前) (コアタイム:12:30～13:15) 10:00から掲示可能ですが 11:00までに掲示してください ※ポスター発表は16:00まで
	13:30	一般講演(口頭)(対面のみ) S会場 S会場(教育学部本館1階11番) 13:30～15:15	最優秀発表賞投票は15:20まで
	15:25	活動報告会(対面のみ) S会場(教育学部本館1階11番) 15:25～16:05 最優秀発表賞表彰・学会賞・奨励賞表彰・受賞講演 16:05～17:10	
	18:30	懇親会 THE GLOBAL VIEW長崎 15階	
11月16日(日)	9:30	一般講演(口頭)(対面のみ) A会場 (教育学部本館2階21番) 9:30～11:15	B会場 (教育学部本館2階22番) 9:30～11:15
	13:00	市民公開シンポジウム(対面およびオンライン) S会場(教育学部本館1階11番) 13:00～16:30	

日本環境動物昆虫学会

〒550-0005 大阪市西区西本町1-11-1 Tel・Fax 06(6535)4684
<http://www.soc.nii.ac.jp/kandoukon.org/>

当日窓口: 実行委員長 大庭伸也・長崎大学
E-mail: ooba@nagasaki-u.ac.jp

大 会 参 加 費

大会参加費：会 員 5,000 円（学生 2,000 円） 非会員：大会参加費 7,000 円

★10 月 1 日以降は各 1,000 円増し

懇親会費：会員・非会員：7,000 円（学生 3,000 円）

★10 月 1 日以降は各 1,000 円増し

公開シンポジウムのみ参加は無料

なお、納入された大会参加費は参加を取り消されても返却いたしません。

事前窓口 学会事務局 TEL・FAX 06(6535)4684

e-mail kandoukon@outlook.jp

当日窓口 大会事務局 e-mail ooba@nagasaki-u.ac.jp

申込みフォーム <https://forms.gle/TqHFv3S4NXgqRfdj8>

11 月 15 日（土）

受付開始 9：45～

理事会・評議員会 10：30～12：00 S 会場（教育学部本館 1 階 11 番）（対面およびオンライン）

ポスター発表 10：00～16：00 P 会場（教育学部本館 2 階 21. 22 番教室前）（対面のみ）

※コアタイム：12:30～13:15

一般講演（口頭発表） 13：30～15：15 S 会場（教育学部本館 1 階 11 番）（対面のみ）

※賞の投票は 11 月 16 日 15：20 まで

活動報告会 15：25～16：05 S 会場（教育学部本館 1 階 11 番）（対面のみ）

1. 庶務報告
2. 理事会報告
3. 各委員会報告
4. 日本昆虫科学連合報告
5. 2025 年学会賞・奨励賞受賞者について
6. 2025 年中間決算について
7. 2026 年事業計画案について
8. 2026 年予算案について
9. 2026 年 年次大会開催場所について
10. その他

最優秀発表表彰 16：05～16：10

学会賞・奨励賞表彰

学会賞受賞講演 16：10～16：40

大庭伸也（長崎大学） 「水生昆虫に関する一連の生態学的研究」

奨励賞受賞講演 16：40～17：10

弘岡拓人（和歌山県果樹試験場かき・もも研究所） 「クビアカツヤカミキリの総合的防除技術の開発に関する研究」

懇親会 18：30～20：30

11月16日(日)

一般講演(口頭発表) 9:30~11:15 A会場(教育学部本館2階21番)(対面のみ)
9:30~11:15 B会場(教育学部本館2階22番)(対面のみ)
市民公開シンポジウム 13:00~16:30 S会場(教育学部本館1階11番)
(対面およびオンライン)

市民公開シンポジウム: 九州の里山と離島
シンポジウム

総合司会: 大庭伸也(長崎大学・実行委員長)

1. 九州におけるカブトムシの生態の多様化

小島 渉(山口大学)

2. 性的誇張形質と繁殖行動に見られる種内変異: カミキリモドキに関する事例

立田晴記(九州大学)

3. 時空間的に変動する生物群集とイモリの防衛戦略

持田浩治(長崎総合科学大学)

4. 九州の離島で繁殖するカンムリウミスズメの生態と現状について

山口典之(長崎大学)

5. 固有種がつなぐ奄美の森と川

井口恵一朗(長崎大学)

市民公開シンポジウムのオンライン参加のURLとZoomアドレスは以下の通りです。

<https://zoom.us/j/99639530169?pwd=s8BrGPahCGzGKr1UCoLfTV9wnfdZQb.1>

ミーティング ID: 996 3953 0169

パスコード: 329013



Zoom の QR コード

当日参加も可能です。

事前窓口 学会事務局

TEL・FAX 06(6535)4684

kandoukon@outlook.jp

当日窓口 大会事務局

ooba@nagasaki-u.ac.jp

委員長 大庭伸也(長崎大学)

委員 上田昇平(大阪公立大学)、川田 均(長崎大学)、菊田幸雄(大日本除虫菊(株))、
江田慧子(関西学院大学)、中上喜史((株)ニュージェック)、高倉耕一(滋賀県立大学)、
福岡太一(長崎大学)、大浦ひなた(長崎大学)、普天間ちおり(長崎大学)、

第1日目 11月15日(土) 9:45~17:10 (役員会は10:30~)

時 間	内 容	会 場
10:30~12:00	理事会・評議員会(対面・オンライン併用)	S会場(本館1階11番)
10:00~16:00	ポスター発表(対面のみ)(コアタイム:12:30 ~ 13:15)	P会場(本館2階21,22番教室前)
一般講演 ポスター発表 ○:発表者 ※:最優秀発表賞対象者		
P-1	※○磯谷彩夏・倉本宣(明治大・農) 異なる3つの景観に設置したコンテナ池における水生昆虫相の発達 ーコウチュウ目、カメムシ目に注目してー	
P-2	※○唐住宗汰(大阪公大・農)・湯浅淳子(大阪自然環境保全協会)・平井規央(大阪公大・農) 上田昇平(大阪公大・農) 大阪府北部における2023~2025年のタガメの生息状況	
P-3	※○林大智・高倉耕一(滋賀県立大・環境科学) ヤコンオサムシの捕食行動から探る2種ナメクジ類の防御戦略	
P-4	※○門下航之・高倉耕一(滋賀県立大・環境科学) 天敵の匂いで変わる行動:ミナミメダカのカイロモン応答多様性	
P-5	○瀬古祐吾・坂本佳子(国環研・生物) 殺虫剤フィプロニルはアリコロニーにおける個体間相互作用を変化させる	
P-6	○森井清仁・坂本佳子(国環研・生物) 近年のニホンミツバチの分蜂回数増加は個体群サイズの増加に寄与するか	
P-7	○神原広平・松原恵理(森林総研)・藤原裕子・大村和香子(京大生存研) 人工飼料で飼育されたヒラタキクイムシ類のフラス由来揮発性成分の分析	
P-8	○中野鈴菜・梅澤究・板倉修司(近畿大学大学院農学研究科) ヤマトシロアリ由来のLPMOの機能解析	
P-9	○鶴飼優文(南九州大・環境園芸)・山内巧弥(南九州大・環境園芸)・ 棚町祥子(南九大・健康栄養)・中野光議(南九州大・環境園芸) 宮崎県都城盆地におけるコウライオヤニラミの分布と食性の現状	
P-10	○和田麗有那・長友恵大・堤洸太・中野光議(南九州大・環境園芸) 農業水路における二枚貝の貝殻の付着生物	
P-11	○長友恵大(南九大・環境園芸)・堤洸太(南九大・環境園芸) 和田麗有那(南九大・環境園芸)・佐野勲(東大・院・理)・中野光議(南九大・環境園芸) 宮崎県都城市の水路におけるイシガイ科二枚貝の生息状況と季節性	
P-12	○木村悟朗(イカリ消毒株式会社) オオシマトビケラの波長選好性	
P-13	○東川航(森林総研) 森林におけるナツアカネ(トンボ科)成虫の季節消長	
P-14	○松尾進(長崎県環境保健研究センター、長崎大院・総合生産)・大庭伸也(長崎大・教育) 湿地におけるアメリカザリガニの捕獲方法の比較検討ー長崎の希少な水生昆虫類の保全に向けてー	
13:30~15:15 一般講演 ○:発表者 ※:最優秀発表賞対象者		
発表者は次演題の進行をお願いします(最初の進行係は大会側で用意します)		
	S会場(本館1階11番、対面)	
13:30	S-1 ※○堤洸太(南九大・環境園芸)・長友恵大(南九大・環境園芸)・佐野勲(東大・院・理) 和田麗有那(南九大・環境園芸)・中野光議(南九大・環境園芸) 飼育下における宮崎県産イシガイ科貝類の魚類・両生爬虫類への寄生事例	
13:45	S-2 ※○氏林恒太(大阪公立大・農)・上田昇平(大阪公立大・農)・平井規央(大阪公立大・農) 静岡県におけるツマグロキチョウの季節消長と世代数推定	
14:00	S-3 ※○福岡太一(長崎大・総合生産)・佐藤宗彦(長崎大・教育)・ 松井英司(熊本水生生物研究所)・大庭伸也(長崎大・教育/総合生産) マルコガタノゲンゴロウの減少要因を示唆する固有の生活史形質	
14:15	S-4 ※○芳賀沙也花・森万葉果・松林尚志(東農大院・農) ラジオテレメトリー法を用いたヤエヤマアオガエルの生息環境利用に関する研究	
14:30	S-5 ※○田島 尚(信州大院・総合医理工)・大窪久美子(信州大学・農学部) くじゅう地区の半自然草原における蛾類群集の種組成と植生環境との関係	

14:45	S-6 ※○普天間ちおり（長崎大院・総合生産）・小島渉（山口大・理）・大庭伸也（長崎大・教育） 五島列島の小型カブトムシにおける形態比較と捕食者の解明
15:00	S-7 ※○大浦ひなた（長崎大・総合生産）・松本弥優（長崎大・教育）・原優梨亜（長崎大・教育）・大庭伸也（長崎大・教育/総合生産） 日本列島のコオイムシの体サイズに与える温度の影響
15:20	最優秀発表賞の投票締切
S会場：本館1階11番 活動報告会（15:25～16:05） 最優秀発表賞表彰、学会賞表彰、奨励賞表彰（16:05～16:10） 学会賞受賞講演（16:10～16:40） ・大庭 伸也（長崎大学） 「水生昆虫に関する一連の生態学的研究」 奨励賞受賞講演（16:40～17:10） ・弘岡 拓人（和歌山県果樹試験場かき・もも研究所） 「クビアカツヤカミキリの総合的防除技術の開発に関する研究」	

第2日目 11月16日（日）9:30～16:30

9:30～11:15 一般講演 ○：発表者		
	A会場（本館2階21番、対面）	B会場（本館2階22番、対面）
	発表者は次演題の進行をお願いします（最初の進行係は大会側で用意します）	
9:30	A-1 ○大庭伸也（長崎大・教育/総合生産）・大畑蓮（長崎大・教育）・渡辺黎也（倉敷芸術科学大・兵庫県立大） タガメの産卵場所選択：天敵および乾燥リスク回避の検証	B-1 ○平林公男・武田昌昭（信州大学） 河口湖深底部におけるユスリカ相とその変遷
9:45	A-2 ○中西康介（国立環境研究所） 晩植水田における水生動物群集の季節消長	B-2 堀 拓実（大阪公立大・農）・上田昇平（大阪公立大・農）・秋田耕佑（大阪市環科研セ）・○平井規央（大阪公立大・農） ミトコンドリアDNAの解析に基づく大阪府におけるタゴガエルとヒメタゴガエルの遺伝的多様性と分布域
10:00	A-3 ○鈴木真裕・平井規央（大阪公大院・農） 給水時期がアキアカネ卵の孵化率に及ぼす影響：消費期限仮説の検証	B-3 ○嶋田敬介（石川県立自然史資料館）・富沢章（石川むしの会）・梅村信哉（福井市自然史博物館） 絶滅危惧種カワラバットの生態解明と系統解析
10:15	A-4 ○渡辺黎也（倉敷芸術科学大・兵庫県立大）・久保星（㈱ウエスコ）・福岡太一（長崎大）・小林一清（兵庫県）・高橋真司（東北大）・大庭伸也（長崎大）・佐川志朗（兵庫県立大） 休耕田ビオトープにおける初夏代掻きが水生昆虫類に与える影響	B-4 ○大村和香子・田鶴寿弥子（京大・生存研）・菱山正二郎（森林総研） ユズリハの赤色帯に関する研究
10:30	A-5 ○久保星（株式会社ウエスコ）・遊磨正秀（龍谷大・先端理工） 京都府木津川におけるコクチバスの繁殖時期と営巣環境	B-5 ○築瀬佳之（京大生存研）・渡邊 宏・合川英男・目片奈緒（ケイミュー（株））・内藤茂樹（パナソニックハウジングソリューションズ（株）） シロアリ貫通阻止性能を備えたサーキュラーエコノミー対応型造粒材料の開発
10:45	A-6 倉本宣（明大・農） 絶滅危惧植物カワラノギクの種子食害昆虫ツツミノガ属の一種はカワラノギクより先に絶滅するのか	B-6 ○高林良輔・柳澤太洋・猪口佳浩・引土知幸・小林洋子・川尻由美・中山幸治（大日本除虫菊株式会社 中央研究所） 定量噴射エアゾールによる空間処理型コバエ駆除剤の開発

11:00	A-7 ○高倉耕一（滋賀県大・環境）・土田華鈴（滋賀県大・環境、京大院・地球環境）・松井正文（京大院・人間環境）・富永篤（琉球大・教育）・吉川夏彦（国立科博・動物）・江頭幸士郎（北九州市立自然史・歴史博）・福谷和美（京大院・人間環境）・福山伊吹（北大北方生物圏フィールド科学センター）・山本和宏（京大院・人間環境）・松原康平（京大院・人間環境）・大沼弘一（兵庫県自然保護協会）・原壮太郎（京大院・人間環境）・西川完途（京大院・地球環境、人間環境） 賀茂川におけるオオサンショウウオ類の個体群サイズ推定	B-7 ○九鬼奈紀・山城敬範・猪口佳浩・小林洋子・引土知幸・川尻由美・中山幸治（大日本除虫菊(株) 中央研究所） クモ用エアゾールの開発
-------	--	--

13:00~16:30 市民公開シンポジウム S会場（本館1階11番）（対面・オンライン併用）	
九州の里山と離島 シンポジウム 総合司会：大庭伸也（長崎大学・実行委員長） 1. 九州におけるカブトムシの生態の多様化 小島 渉（山口大学） 2. 性的誇張形質と繁殖行動に見られる種内変異：カミキリモドキに関する事例 立田晴記（九州大学） 3. 時空間的に変動する生物群集とイモリの防衛戦略 持田浩治（長崎総合科学大学） 4. 九州の離島で繁殖するカンムリウミスズメの生態と現状について 山口典之（長崎大学） 5. 固有種がつなぐ奄美の森と川 井口恵一朗（長崎大学）	

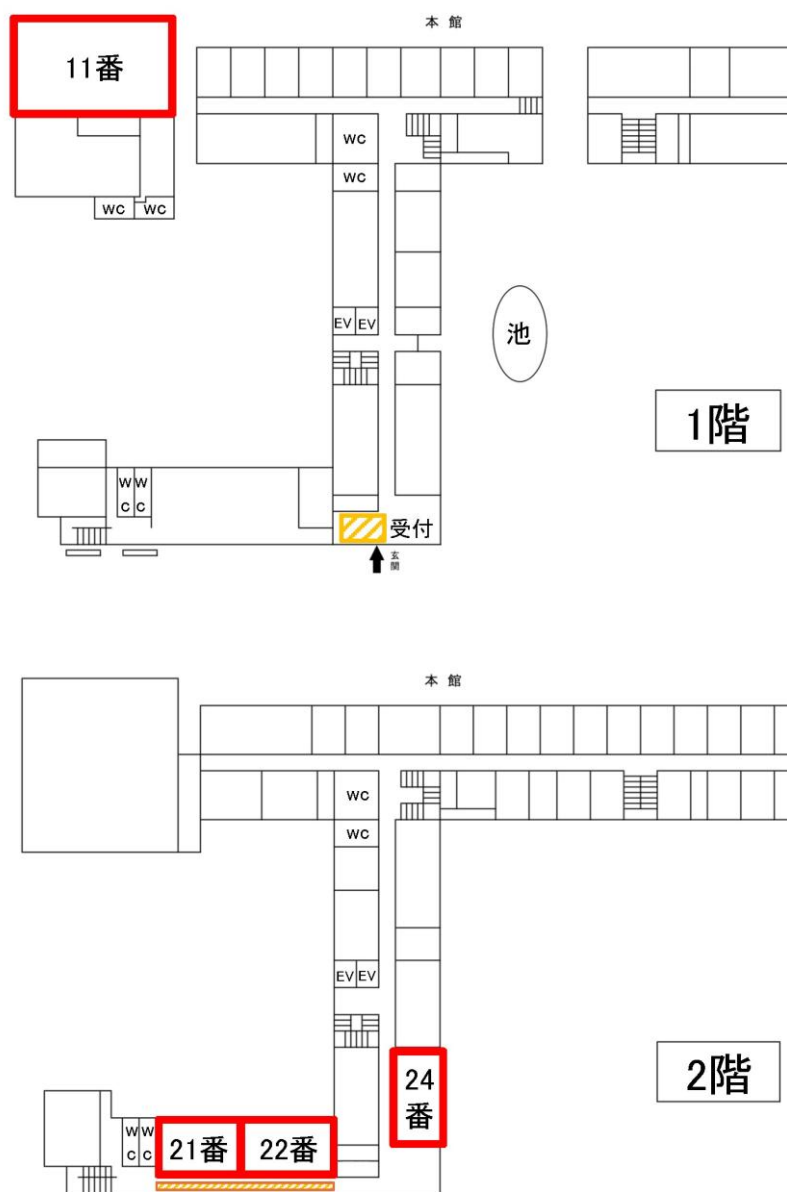
会場へのご案内

電車でのアクセス

長崎駅から路面電車（長崎電気軌道 1 系統）で 赤迫行で長崎大学前下車（18 分）



会場



<11 番>

15 日：口頭発表、活動報告会、学会賞・奨励賞講演 16 日：市民公開シンポジウム

<21, 22 番前>

15 日：ポスター発表

<21, 22 番>

16 日：口頭発表

<24 番>

15, 16 日：休憩室

懇親会場へのご案内

